



# 神戸医協ニュース

540

2009. 6. 1

発行／神戸医師協同組合 発行人／小柴 孝夫 〒651-0067 神戸市中央区神若通3-2-15 電話(078)241-8991代 <http://www.kobe-ishikyo.or.jp>



紙上フォト・ギャラリー

## 思い出のベンチ

(東京都立川市、  
国営昭和記念公園にて)

撮影／西村 豊 (姫路市)

## より良いジェネリックを求めて

理事 岡田 実

ひとくちにジェネリック医薬品といってもその評価は先生方におかれて様々です。ゾロ新とかバチモノと呼んでいた古い(?)時代から、この数年ジェネリック医薬品というネーミングが定着してきました。欧米に比べて日本では後発品の使用が少なく、医療費抑制に効果があるため厚労省は2012年までに後発品シェアを数量ベースで30%まで引き上げる目標を掲げて、保険診療の内容にまで踏みこんでいる状況です。

ここで重要なことは、ジェネリック医薬品を使用するにあたって数種~数十種の中からまともな薬品を使用することであり、そのまともな薬品を選択し供給することが医師協の仕事であると考えています。

ジェネリック医薬品メーカーも大小さまざまで、以前にはこれが製薬工場かと目を疑うばかりの家内工業的工場で製造され、とても信頼できる後発品と言えないものや、先発品に比べてどうみても効果が劣るものがあったようです。しかしながら、解熱鎮痛剤・抗菌剤・胃腸薬などたくさんのよい製品が出ており、数年前から発売されているスタチン系高脂血症薬は先発品

と遜色なく多くの医療機関や調剤薬局で採用されています。

医師協薬品部では薬品担当の藤原常務理事を先頭に、毎月薬品部会を開催し、兵庫県内6ブロック長の出席を求め、薬品売上げ状況の詳細な報告を検討し、各ブロックでの医療機関や調剤薬局での評価を聞いています。また、適時ジェネリックメーカーの担当本部長や製品に詳しい担当課長を呼び、その製品が信頼に足りるものかどうか検討しています。今後発売予定のジェネリック新薬に対しては、数十のうちからよりよい製品数種に絞り込み採用することで効率の改善を考えています。

昨年度の高血圧治療剤アムロジピンに続いて5月からはクラビットやムコスタ等のジェネリック製品が販売されました。組合員の皆様に、ただ安だけということではなく安心して使用できる製品を選択し供給していきますので、御協力のほどよろしくお願い申し上げます。